

氏名		提出日	年 月 日
受付 番号		承認 番号	T-ACT 記入欄

T-ACT 新型コロナウイルス感染対策チェックリスト

本チェックリストは、「筑波大学課外活動における団体活動開始ガイドライン」にしたがって、T-ACTで活動するためのチェック項目となります。以下の項目にチェックを入れ、T-ACT 推進室に提出してください。対面や外出を伴う活動を行うために必要な項目となります。

<開催前>

- プランナーとオーガナイザーは、開催前2週間の体温測定を行い、体調の記録*をすること
健康管理担当者を定め、その記録をプランナーと健康管理担当者が責任を持って管理すること（すぐに提出できる状況にしておく）
※ 筑波大学の健康観察記録表を利用し記入
- 健康管理担当者は、原則、開催前日（T-ACT フォーラム閉室日を除く）12：00 までに体調の記録の確認を行い、メールにてパートナーおよび T-ACT フォーラムへ報告をすること
→ 報告がない場合は、開催は認めない
- プランナー・オーガナイザーに感染の疑いがある場合は、その時点で活動を停止すること
- 参加者は事前に登録した者のみとし、参加者には以下の項目を周知しておくこと
 - 状況によっては参加が認められない場合があること
 - 活動中、マスクを着用すること
 - 開催前2週間に発熱、体調不良（風邪症状や息苦しさなど）の症状がないこと
- 上記を含む大学からの要請等に従った活動になっていること

<当日>

- 当日および開催前2週間の発熱、体調不良（風邪症状や息苦しさなど）の症状の有無を確認すること
- 活動履歴管理者を定め、日付、場所、時間（時～時）、参加者氏名、手で触れることの出来る距離で15分以上の接触があったもの（学外者を含む）に関する情報を記録し、保管すること
- マスクの着用を徹底すること
→ 着用できない場合には、別の対策を講じること
- 来場時の消毒を徹底すること
→ 消毒液の準備が困難な場合には、手洗いを徹底すること
- ソーシャルディスタンス（2m程度）を保つこと
- 十分な換気（常時換気が望ましいが、難しい場合の目安として30分1回の換気）を行うこと
- 飲食や大声を出す参加者がいたら注意を促し、改善されなければ退室させること
- 参加者の名簿を作成、管理すること
- 使用物品は、個々で持参し、共用しないこと
- 会場などが定めるガイドラインに沿っていること

<開催後（開催後2週間を目途に）>

- 以下の内容について、T-ACT 推進室に報告を行うこと
 - イベント終了の報告をすること
 - イベント終了後2週間の時点で参加者にその同居者を含めた感染の有無の確認を行うこと（濃厚接触者と判断された場合も確認する）
- 結果については、プランナーもしくは登録団体から T-ACT 推進室に連絡すること

<活動を通じて感染が疑われる者が発生した場合>

- 活動を通じて感染が疑われる者が発生した場合について、以下の対応が必要であること
 - (1) 参加者が、以下の項目に該当した場合、「新型コロナウイルス感染が疑われる場合の本人の行動フロー」に従って行動する。
 - 相談、受診の目安に該当する体調不良の症状がある場合
 - 濃厚接触者に指定された場合
 - 同居者が PCR 検査を受けることになった場合
 - 新型コロナウイルス感染者との接触があったことが判明した場合
 - (2) 上記に該当する参加者は、プランナーへ、感染の疑いがある旨の報告をする。
 - (3) 報告を受けたプランナーは、発生状況をパートナー及び T-ACT 推進室に報告するとともに、団体活動を停止すること。